

科目名	Writing	学 年	3 年	コース	全	単位数	3	担当者	
<p>1 目 標</p> <p>情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書く能力をさらに伸ばすとともに、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。</p> <p>2 到達目標</p> <p>情報や考えなどを、場面や目標に応じて英語で書く能力をさらに伸ばすこと。 英語を書いて表現しようとする積極的な態度を育てること。 この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てること。</p> <p>3 成績評価の方法</p> <p>定期考査、小テスト、提出物、授業への出席状況や積極的に英語で表現しようとする授業態度を総合的に評価する。</p> <p>4 学習者へのメッセージ</p> <p>1年生の「英語」や2年生の「英語」で育成された能力を基礎として、情報や考えなどを場面や目的に応じて英語で書く方法を学習する。 英文を書くためには、まず、英語の特性にかなった基本的な例文を理解し、身につけなければならない。数多くの英文に接し英語の発想と感覚を身につけよう。丸暗記ではなく、英文法の知識に基づいて理解しながら、基本的なよい英文を数多く覚えることが大切である。基本例文を「覚えよう」という意識を一切捨て、専ら理解することに努めれば、結果的に覚えることができる。「理解を通して得た知識」は、長く記憶に残り、たとえ忘れても理解したときの手順を追って思い出すことができ、また、他に応用することもできる。 英語を書いて表現しようとする積極的な姿勢を持つことが大切である。理解を通して得た知識を利用し、情報や考えなどを整理し、相手の立場に立って内容や表現を工夫し身近なことから英語で表現してみよう。日々の出来事を英語で日記をつけると効果的である。学んだ表現を利用し、さあ書いてみよう。 前もって用意したメモをもとに会話したり、推敲した原稿を暗記しスピーチをするなどライティングで得た知識を活用し積極的にコミュニケーションを図ってみよう。</p> <p>5 使用教材</p> <p>教科書「MILESTONE English Writing」(啓林館)</p> <p>副教材「基礎英語頻出問題総演習(即戦ゼミ)」(桐原書店)</p> <p>6 自己評価</p> <p>1年間を振り返って到達目標を達成できたか、自己評価をして、今後の課題を明らかにしよう。</p> <p>到達目標 [] [] []</p> <p>課 題</p>									

A：十分，達成できた。 B：だいたい達成できた。 C：努力が不足した。

7 年間授業計画

月	単元（章，節など）	重点目標
4 5	Part1（基礎編） Lesson 1～2（文型） Lesson 3～4（動詞） Lesson 5～6（動詞） REVIEW Lesson 7～8（助動詞）	5文型の理解 現在形、過去形 未来形、進行形の理解 現在完了形 過去完了形の理解 Lesson 1～6の復習 助動詞の用法の理解
1 学 期 中 間 考 査		
6 7	Lesson 9（受動態） Lesson10（不定詞） Lesson11（分詞） Lesson12（動名詞） Lesson13（準動詞の慣用表現） REVIEW Lesson14～16（主語）	byを伴う受動態 by以外を伴う受動態の理解 名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法の理解 現在分詞、過去分詞、分詞構文の理解 主語、補語、目的語の場合の理解 不定詞、分詞、動名詞の慣用表現の理解 Lesson 7～13の復習 様々な主語の用法の理解
1 学 期 期 末 考 査		
9 10	Lesson 17～18（関係詞） Lesson 19（否定） REVIEW Lesson 20～21（比較） Lesson 22～23（仮定法） Lesson 24～25（接続詞） REVIEW	関係代名詞、関係副詞の用法の理解 n o + 名詞、部分否定、f e wの用法の理解 Lesson 14～19の復習 比較級、最上級、その他の比較用法の理解 仮定表現の用法の理解 名詞節、副詞節を導く接続詞の用法の理解 Lesson 20～25の復習
2 学 期 中 間 考 査		
11 12	Part2（発展編） Lesson 1～4 Lesson 5～8 Lesson 9～12	学校生活、日常生活についての表現の理解 趣味、娯楽についての表現の理解 科学、文化、環境問題についての表現の理解
2 学 期 期 末 考 査		
1	復習と演習（センター試験対策）	センター試験対策等の過去問題の演習
学 年 末 考 査		